

資料 1

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガイドライン項目		(1) ごはんを中心とした食生活の推進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
	<p>・朝食を欠食する児童生徒を、平成13年度の11.3%から0%を目指す</p> <p>・幼児、児童、生徒の肥満傾向児の割合を、平成15年度の16.7%から7%以下にすることを旨とする</p>			<p>・子どもの朝食欠食 H22:8.4%→H25:8.5% 「食生活状況等調査」では0.1ポイント増加している。業務の中では朝食の必要性和早寝早起きの習慣を主とした生活リズムについて機会ある毎に保護者に毎回説明した。</p> <p>・肥満傾向児の割合 H26:11.67%→H27:11.83% 「子どもの肥満状況調査」ではほぼ同じ傾向にあり、0.16ポイントの増加で課題は継続している。授乳期、離乳期からの意識した働きかけをしている。結果に結び付かない難しさを感じる。</p> <p>・大人の朝食欠食 H27:9.8%→H28:9.6% 総合健診時アンケートでは0.2ポイント減少している。</p> <p>・診療所の医師より、農家世帯の一服のおやつについてどうにかできないかとの問題提起あり。今後の課題である。</p>				
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当	
	①	朝食欠食状況調査の実施	食生活状況等調査(1回/3年)	子ども(3歳~15歳)の状況把握	0	0	平成28年度は未実施	健康保険課 教育委員会
			総合健診時のアンケートの実施	各年代(40歳以上)の状況把握	0	0	受診者1,565人(40歳~74歳)朝食欠食率9.6%	
	②	肥満状況の把握	保育所幼稚園及び小中学校の身体測定と特定健診のデータから把握	対象者1,374人(3~15歳)、2,116人(特定健診受診者)	0	0	平成28年度は未実施	
	③	朝ごはん標語の看板設置	設置済看板の補修等	随時実施	18	0	補修なし	健康保険課
	④	正しい生活(食も含む)習慣の啓発の推進	乳幼児健診における健康教育、チラシ及び広報等で周知	年56回実施	150	0	乳幼児健診56回実施(440人)	健康保険課
	⑤	朝ごはん運動の推進啓発活動	成人式などの開催時		0	0	パンフレット等を配布し、啓発活動をした。	教育委員会
計				168	0			

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガイドライン項目		(2) 家庭での食に対する理解の促進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日当たりの塩分摂取量を、平成15年度の13.2gから10.0g未満を目指す</li> <li>・1日当たりの野菜摂取量を、平成14年度の217.3gから350.0g以上を目指す</li> <li>・毎日1個のりんごを食べる</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定した事業はほぼ実施することができた。</li> <li>・塩分摂取量 H27:12.69g→H28:11.77g 総合健診時の「尿中塩分検査」では0.92gの減少であった。</li> <li>・「食卓に増やそう野菜 減らそう塩分」を不変のスローガンとして活動を継続していく。野菜摂取に関しては健診待ち時間、健診結果説明会において量がわかる展示にしている。</li> </ul>			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	① 食卓に増やそう野菜減らそう塩分運動の推進	健康食の普及	いのちのまつり及び随時実施	90	26	2回(725食) だしの試飲、できるだけ炊き込みご飯など	健康保険課	
	② 町総合健診時の朝食提供	総合健診受診者への、減塩で野菜の多い朝食の提供	健診期間(23日)に実施(2,300食:100食/日)	345	321	29回(2,100人) 野菜たっぷり具だくさん減塩豚汁提供	健康保険課	
	③ 離乳食教室の開催	4か月、7か月、10か月の母親を対象に実施	各月1回実施	228	88	36回実施(232人)	健康保険課	
	④ 若いママのための調理実習	乳幼児を持つ母親を対象に実施	年5回	130	22	5回(27人)	健康保険課	
	⑤ PTA調理実習	PTA会員を対象に実施	年2回	5	51	3回(140人)鶴小PTA、さつま町交流会、サンシャインSつるた	健康保険課	
	⑥ 野菜を多く使った調理実習の実施(健康教室)	健診受診者を対象に実施	年2回	170	9	10回(197人)鶴田高校、保健協力員、みどり町男性料理、地区伝達、お正月料理	健康保険課	
	⑦ 尿中塩分検査の実施	特定健康診査受診者	年1回実施 対象者2,400人 目標 平均12.0g	558	339	2,279人実施:11.77g (男12.19g 女11.40g)	健康保険課	
計				1,526	856			

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガイドライン項目		(3) 安全な食品を選択するために必要な正しい知識の習得の支援に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活と栄養に関する学習の場を増やす</li> <li>・安全な食品に対する情報提供の場を増やす</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区伝達料理教室等の様々な場面で安全な食品である地場産品の利用促進を働きかけている。</li> </ul>			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	地区伝達講習会の実施	安全な食品及び栄養に関する情報提供	年6回実施	0	0	10回(197人)	健康保険課
	②	食生活と栄養に関する学習の場づくり	いのちのまつり開催時食生活改善推進員及び栄養士会による情報提供	いのちのまつり時実施	0	0	2回(900人) 展示・相談・チラシ配布を2日間実施	健康保険課
	計				0	0		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		2 早寝、早起き運動の推進	
ガイドライン項目		(1) 規則正しい生活習慣の促進に関する事項	
ガイ ド ラ イ ン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・酒は1日1合程度で週に2日の休肝日を目指す</li> <li>・1日10,000歩のウォーキングを目指す (年齢や健康状態で歩数を個人で調整)</li> <li>・喫煙者の減少を目指す</li> <li>・1年に1回は健康診査の受診を目指す</li> <li>・鶴田町健康づくり推進協議会等の活性化を図り、健康づくりと受診率向上を目指す</li> <li>・十分な休養と睡眠を取りストレスの軽減を目指す</li> </ul>	実 績	評 価

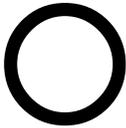
平成28年度 朝ごはん運動実績

事務事業名		事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
実 施	① 生活習慣病予防学習会の実施	随時実施	年120回実施	110	0	生活習慣病予防、健診のすすめ、健康体操など21,345人/236回	健康保険課
	② 健康診査の実施	特定健診	目標受診数 2,116人	16,066	14,781	対象者数3,450人 受診者数1,565人(45.4%)	健康保険課
		胃がん検診	目標受診数 2,200人	11,880	10,476	対象者数4,042人 受診者数1,482人(36.7%)	健康保険課
		大腸がん検診	目標受診数 2,900人	5,234	4,899	対象者数5,695人 受診者数1,591人(27.9%)	健康保険課
		肺がん検診	目標受診数 3,800人	6,399	3,718	対象者数5,695人 受診者数1,872人(32.9%)	健康保険課
		子宮頸がん検診(卵巣がん含む)	目標受診数 690人	4,303	4,051	対象者数3,908人 受診者数1,039人(26.6%)	健康保険課
		乳がん検診	目標受診数 880人	3,510	3,295	対象者数2,854人 受診者数968人(33.9%)	健康保険課
	③ がん検診精密検査料自己負担額補助事業	各種がん検診要精検者の検査料の一部を補助	651人 (限度額8,000円)	4,036	1,339	がん精検対象者数534件 精検受診率84% 補助申請件数267件(50.0%) 1件あたり5,049円	健康保険課
	④ 健診受診勧奨	会合や機会ある毎に受診勧奨をする。	年10回程度	0	0	電話による1,622件/24回 家庭訪問による303件/150回	健康保険課
	⑤ 健診結果説明会	30代及び国保特定健診受診者に対して健診結果の説明と保健指導を実施	目標 2,116人	190	130	1,041件(96.3%) 対象:30歳~64歳の受診者 全員・65歳~74歳特保該当者	健康保険課
画	⑥ 地域体験活動事業	ジュニアリーダー研修会で体験学習	年1回実施 参加目標者数 30人	140	140	10月8日~10日、梵珠少年自然の家(参加者22人)で開催。自炊合宿等の体験を実施。	教育委員会
	⑦ 朝の10分間読書	町内全小中学校で実施	毎日実施	1,875	1,875	毎日実施	教育委員会
	⑧ 鶴田町学校保健会講習会	保健に関する講習会 小中学校教職員対象	年3回実施	0	0	調査活動(町内小・中学校 かぜ状況調査)12~3月実施 養護教諭会 4回開催 各種研究大会への派遣 (北五学校保健会、西北五 合同学校保健研究大会)	教育委員会
	計			53,743	44,704		

平成28年度 朝ごはん運動実績

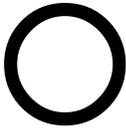
基本方針		2 早寝、早起き運動の推進						
ガイドライン項目		(2) 就寝及び起床の標準時間に関する事項						
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期 睡眠は、現状が9時間程度であるが、11時間以上を目指す 就寝は、午後8時までを目指す</li> <li>・学童期低学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後9時までを目指す</li> <li>・学童期高学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後10時までを目指す</li> <li>・中学生、高校生 睡眠は、7時間以上を目指す 起床は、朝ごはんの時間を含めた余裕のある起床時間を目指す</li> </ul>	実績				評価		
		<p>・幼児期 〈1歳6か月児〉 起床時刻：6:30より前に起床している割合 …H27:44.9%→H28:35.8% 就寝時刻：21:00より前に就寝している割合 …H27:40.4%→H28:26.1%</p> <p>〈3歳児〉 起床時刻：6:30より前に起床している割合 …H27:30.2%→H28:34.2% 就寝時刻：21:00より前に就寝している割合 …H27:14.0%→H28:17.7%</p> <p>※各年度1歳6か月児健診及び3歳児健診時実施の「食と生活リズムアンケート」集計結果より</p> <p>乳幼年期から早寝早起きの生活リズムが身につくよう、睡眠が成育や健康に与える影響などといった知識の普及と個別支援を今後も継続して実施していく必要がある。</p>						
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	就寝、起床時間の調査の実施	対象：3歳から15歳まで		0	0	平成28年度は未実施	健康保険課 教育委員会
	②	乳幼児の就寝、起床時間の調査の実施	幼児健診における調査	年8回実施		0	1歳6か月児健診4回 78人 3歳児健診4回 79人	健康保険課
	③	適正な生活リズム定着への支援	乳幼児保護者への啓発	誕生証書交付式 年12回 乳児健診 年36回 1歳6か月児健診 年4回 3歳児健診 年4回		0	誕生証書交付式12回51人 乳児健診・相談36回232人 1歳6か月児健診4回78人 3歳児健診4回79人	健康保険課
	④	早寝、早起き運動の実施	チラシ等による啓発 各小中校の校長、養護教諭、学校職員による児童、生徒への周知	年3回実施 随時実施		0	ほけんだより等で周知(年7回実施)したため。 長期休暇前のほけんだより等で周知、指導した。	教育委員会
計					0	0		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(1) 農薬等の適正な使用及び管理の徹底に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
	・食用作物等への農薬使用について、農薬登録時に定められた基準である適用作物の単位当たり使用量の最高限度又は希釈倍数の最低限度、使用時期、使用総回数を順守し安全・安心な産地づくりを推進する			農薬取締法の農薬使用基準について研修会を開催し、農薬の特性、薬剤の選択、散布時期などについての周知徹底が図られた。 また、残留農薬のポジティブリスト制度について、農薬の飛散（ドリフト）防止技術の向上が図られた。				
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	農薬使用技術講習会開催	農事振興会及び防除組合等を対象に農薬使用技術講習会を開催し、農薬使用基準の遵守を図る	年2回開催	0	0	水稲現地講習会 2回 （町農業支援センター） 農薬使用現地講習会 5回（町共防連）	産業観光課
	②	ポジティブリスト制度の啓発活動	農薬使用基準等や飛散防止に係わる情報の提供	年1回配布	206	206	ドリフト注意喚起チラシ 1回配布 農事普及だより 8回配布	産業観光課
	計				206	206		

※ ポジティブリスト … すべての食品について、農薬などすべての化学物質の基準を定め、超えると出荷を停止する制度。  
 ※ ドリフト … 農薬の使用におけるドリフトとは、散布された農薬が目的外の作物に付着してしまう現象。

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(2) 農産物の生産履歴の記帳に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
	・生産履歴の公開と流通情報も組み込んだトレーサビリティ（追跡可能）を図り、消費者の求める表示内容の正確性、信頼性に対応するため生産者は農産物の安全性をアピールし、付加価値を付ける			トレーサビリティに係る講習会及びJGAP認証取得のための支援対策により、農産物の安全性と消費者への信頼性確保が図られた。				
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	トレーサビリティの強化	各関係機関との検討会及び情報交換会の開催	年2回開催	0	0	水稲現地講習会 2回 (町農業支援センター)	産業観光課
	②	農産物等の生産履歴記帳及び適正農業規範（GAP）の推進	認証取得促進チラシなどによる周知活動	年1回実施	660	0	GAP相談、取得指導等 グローバルGAP認証取得 3名	産業観光課
	計				660	0		

※ トレーサビリティ … 食品の生産、加工、流通などの各段階で、原材料の出所や製造元、販売先などの記録を記帳・保管し、食品とその情報を追跡できるようにすること。

※ GAP(ギャップ) … 「品質」「安全性」「環境への配慮」などの一定基準を満たした農作物に認められる規格。

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(3) 食品表示の適正化の推進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		・農林物資の規格及び品質表示の適正化に関する法律（改正JAS法）のもと有機農産物及び有機農産物加工食品のJAS規格について、生産方法及び表示を明確化することにより信頼性を確保し農産物等の価値を正當に評価される活動を展開する			消費者への信頼性確保のために、JAS法及び食品衛生法に基づく食品表示等についての研修会などを実施した。			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	食品表示に関する講習会	各種食品表示に関する講習会への参加	随時	0	0	あるじゃ農産物販売コーナーでの点検・指導	産業観光課
	②	農産物生産に関する表示適正化	農協やあるじゃ等と連携を図りながら表示に関する指導活動	年2回実施	0	0	野菜等生産研修会 2回（あるじゃ産直友の会）	産業観光課
	計				0	0		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(4) 環境にやさしい安全及び安心な農産物の生産体制の強化に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		・ 特別栽培農産物に対する消費者の信頼確保と生産者の生産意欲向上を図り環境にやさしい農業に取り組む産地を育成する ・ 土づくり、化学肥料、化学農薬の使用低減を行い持続性の高い農業生産方式の導入を推進する			各種研修会等において、県特別栽培農産物認証制度についてのチラシなどによる周知活動を実施した。 県と連携し、稲わらを有効活用した土作りに関する各種取り組みを実施した。			
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	青森県特別栽培農産物認証制度の推進	県関係機関及び農協と連携を図りながら農産物認証制度への誘導	目標認証件数：7件	0	0	1件(1法人)	産業観光課
	②	日本一健康な土づくり実践事業	土づくり等の環境保全農業活動の促進	チラシ配布：年1回	0	0	稲わら有効活用啓発チラシ1回配布 稲わら有効活用推進施策の実施	産業観光課
	計				0	0		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガイドライン項目		(5) 食品の安全及び安心に係る消費者への情報提供に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
	・農政改革大綱において消費者の視点を重視した食糧政策構築の観点から消費形態の多様化や味、鮮度、健康、安全性に対する事項について情報提供する			町および県内で実施した農林水産物に係る放射性物質測定結果についての情報を提供した。			
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	①	食品の安全及び安心に係る情報	チラシやパンフレットなどによる農産物の安全・安心の周知活動	0	0	チラシ「食の安全・安心情報」を10月に配布	産業観光課
	計			0	0		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガイドライン項目		(1)地産地消の推進体制の整備に関する事項						
ガイドライン					実績		評価	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種農業団体と連携し地場産品の生産振興及び消費拡大を図る</li> <li>地場産品等の生産振興及び加工品の開発を図る</li> </ul>					<p>グリーンツーリズムの拠点施設である「あるじゃ」を核として、町内に点在する各観光農園（さくらんぼ、ぶどう、りんご）マップを町HPに掲載し、県内外への情報発信が図られた。</p> <p>当町産の大豆、米、小麦の加工商品の開発及び製造・販売により、地産地消の推進が図られた。</p>		○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	地場産品の生産振興の推進と消費拡大	観光農園の積極的なPR活動	随時	0	0	あるじゃ及び町HPからの情報発信により、県内外へのPR活動を実施した	産業観光課
	②	大豆・米加工施設の利用促進	加工商品の開発及び製造・販売の強化	随時	0	0	大豆、米、小麦の加工商品の開発、製造・販売を行った	産業観光課
	計				0	0		

※ グリーンツーリズム … 都市と農村の交流。都会の住民が農山村に滞在し、自然や文化を体験する旅行の形態。

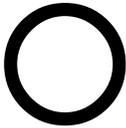
平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガイドライン項目		(2) 町民による鶴田町において生産された農産物（以下「地場産品」という。）の積極的使用に関する事項						
ガイドライン	・マーケティング・リサーチ活動を実施し、地場産品の把握及び販売の強化について方策を立てる			実績			評価	
				県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」は、農協による販売が終了。 当町産つがるロマン及び大豆・小麦加工品について、あるじや店頭販売のほか学校給食用などで消費が図られた。				
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	青森県特別栽培農産物認証米「鶴の輝き」の生産及び消費拡大	当町産の認証米を農協・あるじやの加工施設で商品化し消費拡大を図る	加工量：17,000kg うち学校給食：11,000kg	0	0	鶴の輝きに代わり、当町産つがるロマンを使用 加工量 15,098kg ・学校給食 10,842kg ・米粉 421kg ・その他 3,835kg	産業観光課
	②	転作作物として生産された大豆・小麦加工品の消費拡大	当町産の大豆・小麦をあるじや加工施設で商品化し消費拡大を図る	9,000kgを豆腐、テンペ等に加工・販売	0	0	加工量 7,681kg ・学校給食 2,894kg ・豆腐 5,603kg ・味噌 297kg ・その他 264kg ・ソフト・シェーク 9,128個	産業観光課
				小麦10,000kgをあるじや加工施設で加工・販売	0	0	加工量 6,390kg びっくりパン、食パン 米粉パンなどに使用	産業観光課
	③	各料理教室の開催	町における料理教室	年12回開催(教養講座)	112	96	7月～12月まで公民館調理室にて料理教室を12回開催。延べ参加人数115人	教育委員会
				年1回開催(農家女性いきいき講座)	35	0	開催せず	産業観光課
計				147	96			

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガイドライン項目		(3)地場産品を使用した学校給食の推進に関する事項						
ガイドライン	・安全で安心な地場産品を使用した学校給食を提供するための生産・流通体制の整備を目指す			実績			評価	
				平成28年度学校給食に使用した地場産品は、米・野菜・果実等15品目で、鶴田産16.6%、青森県産49.5%を使用しており、食材全体使用量の66.1%を占めている。昨年と比べ、野菜等の使用量が約600kg増えた。地場産品の安定供給を図るため学校給食応援隊や関係機関との連携をさらに強化する。			○	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課	
	①	学校給食応援隊の活動推進	地元農家から給食の食材として地場産品を提供してもらう制度の確立	かぼちゃ、玉ねぎ等 2,000kg	400	400	野菜等の使用量 2,813kg じゃがいも 380kg 玉ねぎ 746kg 長ねぎ 690kg 大根 117kg にんじん 363kg ピーマン 27kg パプリカ 5kg なす 51kg ミニトマト 186kg キャベツ 46kg みそ 177kg さくらんぼ 25kg	教育委員会
	②	学校給食に地場産品の活用	米・りんご等の使用	米は「つがるロマン」を使用 11月からりんごを提供	0	0	米は、「つがるロマン」を提供 10,842kg りんご（無償） 2,344kg ぶどう（無償） 120kg	教育委員会
	計				400	400		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガイドライン項目		(4)町長、関係機関及び関係団体が行う事業における、地場産品の積極的使用に関する事項					
ガイドライン	・農業協同組合、あるじゃ、津軽ぶどう協会、各種農業団体等と連携し、地場産品の販路拡大を推進する			実績			評価
				町内外イベントにおいて、地場産品を賞品や材料として使用するとともに、特産品販売やPR活動による販路拡大と情報発信が図られた。			
実施	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額（千円）	決算額（千円）	進捗状況等	担当課
	①	町内イベントでの地場産品の紹介	津軽富士見湖桜まつり	年1回開催	42	75	鶴の舞橋カラオケ大会 賞品（あるじゃ）
成人式・実年式・各大会などの記念品、賞品に活用			年3回開催	45	45	町民文化祭の賞品をあるじゃの特産品で活用。	教育委員会
フードリバー市民と親しくする会、新年を祝う会で紹介			年2回実施	634	488	年3回実施 ・フードリバー市民と親しくする会 ・新年を祝う会 ・外国青年による津軽弁大会	総務課
②	町外イベントでの地場産品の紹介	青森人の祭典で紹介・販売	年1回参加	234	279	計1回 ・青森人の祭典	産業観光課
		ふるさと鶴田会総会・役員会で紹介	年2回実施	210	210	年3回実施 ・ふるさと鶴田会役員会総会 ・" " 総会 ・県庁鶴田会	総務課
③	地場産品の販路拡大事業	スチューベンぶどう販路拡大トップセールス及び試食宣伝活動	年1回開催	1,451	1,002	トップセールス 計4回 ・愛知県 1回 ・東京都 3回 青森県フェア 計1回 ・愛知県 1回	産業観光課
		観光・物産資源PRキャンペーン	年1回参加	60	60	ツルタの恩返し試飲・試食	産業観光課
計				2,676	2,159		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		5 食育推進の強化						
ガイドライン項目		(1)食に関する様々な体験及び体感による学習の推進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		・保育所、幼稚園、学校で1年に1回は学習の実施を目指す			小学校において、実際の農作業を経験し、収穫の喜びとともに食への知識向上を図った。 また、料理教室は自分で料理をするきっかけ作りや親子の絆を深めることに役だった。			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	子どもと一緒にクッキング	各小学校を対象に、朝ごはん作りの体験教室を実施	各小学校各学年対象 年21回実施	164	128	24回実施(342人)	教育委員会
	②	朝ごはん運動推進体験学習の実施(教育ファームの推進)	農業者の指導を受けながら農作業を体験	米づくり(4校) りんごづくり(5校) 野菜づくり(4校)	0	0	米づくり(2校) りんごづくり(4校) 野菜づくり(5校)	教育委員会
	計				164	128		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		5 食育推進の強化					
ガイドライン項目		(2) 教育関係者の食育学習の推進に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
		・ 1年に1回は学校保健会などが中心となり食育学習等の実施を目指す			成長期における睡眠の重要性ならびにしっかりと朝食をとることの大切さの理解を深めることを図った。		
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	① 食育と生活リズム推進委員会	小中学校・保育所等の情報交換及び推進のための方策研究	年3回実施	0	0	7月25日 14:20~16:00 講演会「短命県返上に係る生活習慣病予防について」 県立中央病院 医療管理監 小野正人 氏 その他会議 2回	教育委員会
	計			0	0		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		5 食育推進の強化						
ガイドライン項目		(3)学校給食を通じた食育の推進に関する事項						
ガイ ド ラ イ ン	・子どもの食に関する理解の促進と町の特色を生かした給食の提供を目指す			実績			評価	
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土食と行事食を合わせて13回実施。学校給食応援隊と連携し、地場産品を使用している。</li> <li>・地元食材を活用した食に関する指導の実施。</li> <li>・郷土料理や行事食を取り入れた献立の実施。</li> <li>4月-入学進級お祝い(お祝いゼリー)</li> <li>5月-こどもの日(柏餅)</li> <li>6月-虫歯予防週間(アーモンド、小魚)</li> <li>7月-七夕(七夕ゼリー)</li> <li>8月-夏野菜カレー(なす、パプリカ、いんげん等)</li> <li>9月-十五夜(白玉汁、十五夜ゼリー)</li> <li>10月-ハロウィン(かぼちゃプリン)</li> <li>11月-ふるさと産品の日(スチューベンぶどう)</li> <li>12月-クリスマス(クレープ)</li> <li>1月-正月(けの汁、子和え)</li> <li>2月-節分(福豆)</li> <li>3月-雛祭り(雛あられ、卒業お祝いゼリー)</li> <li>11月~2月-鶴田産のりんごを毎食提供</li> <li>・11月に菖蒲川小学校において生徒と教育長、次長、校長、学校給食応援隊、給食センター調理員が「ふるさと産品の日 交流給食会」を開催した。</li> <li>・11月青森県学校給食会主催の学校給食献立コンクールへ参加し、鶴田小6年児童2チームが参加し、「栄養たっぷりの青森の食材」「男の料理青森編」という題材で両チームとも優良賞を受賞するなど食育の成果が伺えた。</li> </ul>			○
実 施 計 画	事務事業名		事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	①	学校給食で郷土食、行事食メニューなどの実施	各小中学校を対象	年12回実施	0	0	郷土食と行事食を合わせて13回実施。 ふるさと産品の日 交流給食会(H28.11.16菖小)の実施。	教育委員会
	②	食に関する指導	各小中学校を対象に栄養教諭が食育の授業を実施	年30回実施	0	0	小中学校 合計 45回実施	教育委員会
	計				0	0		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		5 食育推進の強化					
ガイドライン項目		(4) 国際交流による食育の推進に関する事項					
ガイドライン				実績			評価
		・外国の食文化を体験及び学ぶことで、米食文化の再認識を目指す			フッドリバー訪問前に国際交流員が調理した外国料理を中学生大使と保護者が実際に食し、外国食文化とテーブルマナーを体験。		
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課
	① 姉妹都市フッドリバー中学生親善訪問事業	外国の食生活を学ぶ	年1回実施 参加人員20人	52	20	フッドリバー訪問団員23人	教育委員会
	計			52	20		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		6 米文化の継承						
ガイドライン項目		(1)米の生産者と消費者との交流の促進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
		・生産者と消費者との情報交流の場の設定を目指す			町内外でのイベントにおいて、農産物等の販売による消費者との交流が図られた。			○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	町内外のイベントで地域産農産物等の紹介	各種イベント等における特産品の情報発信活動	随時実施	0	437	計1回 ・龍巻寿司	産業観光課
	計				0	437		

平成28年度 朝ごはん運動実績

基本方針		6 米文化の継承						
ガイドライン項目		(2) 伝統的な米文化の継承の推進に関する事項						
ガイドライン				実績			評価	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な行事と結びついた米文化の知識や農具・器具等の伝承を目指す</li> <li>・地域における伝統的な米食文化の継承を目指す</li> </ul>			管内小学校児童を対象とした「米づくり体験」「餅つき」などを開催し、日本の伝統的な米文化と米を食することの重要性に関する継承の促進が図られた。			○	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	担当課	
	①	米文化の伝承事業	米づくり体験、餅つき大会の実施	餅つき大会=4小学校(鶴田小・菖蒲川小・梅沢小・胡桃館小)	30	30	11月鶴田小3世代ふれあいまつり、12月菖蒲川小3世代交流餅つき大会、12月梅沢小防犯餅つき大会。	教育委員会
	②	歴史文化の伝承事業	米料理、伝統料理の継承と古民具の展示。	鶴田町歴史文化伝承館の活用	0	0	4月~12月まで2階展示室に、古い農具や民具を展示している。	教育委員会
	計				30	30		

合計	59,772	49,036
----	--------	--------